



CANOA だより

46

2010年8月発行

文・写真_鈴木真由美 編集_橋口博幸 発行_ブラジル事務局
Praia do Esteveao s/n, Canoa Quebrada, Aracati-CE-Brasil CEP: 62800-000

今年も日本に七週間滞在しました。
たくさんの素晴らしい出会いがありました。
そして、大学生に行った講義では子どもや教育のことだけではなく、
「私にも何ができるだろう、何が好きで、
何なら自信を持ってできるだろう、など考えてみたいと思いました。
まず自分を知らうと思いました。」という感想を受け取りました。

「二十代に旅をせよ」

ぜひぜひ一歩踏み出す勇気を、そしてその前に、自分を知り、
好きになってもらいたいと思っています。



あーすフェスタかながわ 2010

“「あーすフェスタ」は、「多文化共生」をテーマに、民族団体、外国籍の人たち、
NGO、NPO、関係団体、神奈川県が協力して、ともに考え、ともに語らい、ともに楽しむイベント”
という趣旨に賛同し、「光の子どもたちの会」として出店することとなりました。
ご興味のある方はぜひ足を運んでみてください。

日時：2010年9月11日(土)、12日(日)

場所：神奈川県立地球市民かながわプラザ(あーすぷらざ)

横浜市栄区民文化センター(リリス)

〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 1-2-1 (JR 根岸線本郷台駅下車徒歩3分)

学費支援プロジェクト

昨年一年間サンパウロに研修に行っていたフラビアーニが私たちのもとに戻り、更に大きくなった彼女と一緒に二〇一〇年、活動をスタートしました。彼女とパトリツシアは夜間に大学に通っていることもあり、忙しい毎日を送っています。しかし、そんな彼女たちは様々なアイデア、そして、新しい挑戦には事欠かず、私たちのもとに新たな風を吹き込んでいます。それを受けてか、すでに大学を卒業しているエリアーナが、幼児教育専攻に始めました。ブラジルでは『教育学科』しかなく、教員免許制度もないために保育園児から高校生に至るまで学ぶことはすべて同じです。そのために専門的なことを学ぶ機会がないというのが現状です。そこで、専攻課程を行っている大学が増えてきています。この専攻課程に通うには大学を卒業している必要があります。そこに現在、エリアーナが通っているのです。こうして教職員が相互に刺激し合い、助け合いながら活動を続けていくことができていることが私にとってとても嬉しいのです。

下記にフラビアーニとパトリツシアからの報告を載せさせていただきます。

フラビアーニ

二〇一〇年、私はとても幸せで、大学で教育学を学べていることに感謝しています。大学に通うと言うことは私の人生においても大きな挑戦であり、毎日私の中に新しいものが生まれているようでもあります。また、毎日地域の子ども達と接する中で彼らの将来がよりよいものとなるようにこれからも支えていきたいという気持ちが強くなっています。

大学で授業を受けていると、先生たちの生き方やなぜこの職業を選んだのかという話を耳にすることがあります。そういった話を聞いていると、私自身に対して「どこに向かって教えていくべきだろうか？どうやって教えていくべきだろうか？」という疑問が頭をよぎります。なぜならば、大学で習っていることは私たちの現実とはかけ離れており、私たちの「光の子どもたち」での教え方とも大きく違います。それでも学んだことを生かしながら、子どもたちにとって良いと思われることを常に選択していければと考えています。私たちを応援してくださっている皆さん、本当にありがとうございます。

パトリツシア

二〇一〇年という年は私にとってとても素晴らしい一年となっていました。この半年の間にやり遂げることができたことは私の人生にとって、とても重要なことばかりです。また、こうやって大学に通い、学ぶことができているということは私をとっても幸せな気持ちにさせてくれています。それはこういった日々の些細なことが私たち人間を大きく成長させてくれると感じているからです。教育の目的というのは、他の人々がすでに行ってきたことを繰り返すのではなく、新しいことに挑戦していきけるような人間を育てていくことだと思います。私は教育学科を選んだ時、私の人生だけでなく、地域にとっても大切なことを学んでいきたいと考えました。それは、将来に向かって大きく変化し続ける世界に何かしら貢献していきたいと望んだからです。私一人で世界を変えることはできないけれど、大きな変化の中で少しでも私ができることがあれば、それを実行していきたいと思っています。

私だけでなく、他の青少年達が自分のやりたいことを見つけ、それに取り組んでいくことができることを望んでいます。なぜならば、誰にでも可能性があるのだということを感じているからです。

「学資支援」のお願い

ブラジルでは現在、「子どもと直接かわる職業の人はすべて、大学の教育学部に通学もしくは卒業していること」ということで、私たちの現地スタッフの内2名(フラビアーニとパトリツシア)が現事市内の大学の教育学部に合格し、この2月より通学しています。私立のため一人当たり：授業料(月謝) + 交通費 + 教材費 = 約 18000 円 (R\$300.00)、その半分を支援していこうと言うプロジェクトです。

そのため現在、毎月約 18000 円(二人分)を学資支援しています。支援方法は、会員の支払い方法と同じです。但し、コメント欄に『学資支援』と書いていただけますよう、お願いいたします。

< 郵便振替 >

口座番号：00280-1-41787

加入者名：光の子どもたち一カノアの活動を支える会

※団体名と加入者名が異なりますのでご注意ください。

会計報告収入の部内訳

単位：円

	日本事務局	ブラジル事務局
収入の部		
前期繰越金	76.144	129.935
物品販売	30.500	63.612
会費収入	140.000	11.946
寄付収入	184.815	1.004.171
音楽企画支援費	0	101.912
サッカー企画支援費	0	0
その他事業支援費	0	98.502
団体寄付収入	60.500	0
地球市民財団助成金	800.000	0
味の素助成金	900.000	0
受取利子	32	0
収入合計	2.191.991	1.410.078

会計報告及び予算

単位：円

	21年度予算	21年度決算	22年度予算
収入の部			
前期繰越金	206.079	206.079	681.460
物品販売	500.000	94.112	100.000
会費収入	500.000	151.946	200.000
寄付収入	1.000.000	1.188.986	1.000.000
講演会収入	100.000	0	0
学資支援費	0	0	216.000
音楽企画支援費	250.000	101.912	324.000
サッカー企画支援費	30.000	0	30.000
その他事業支援費	35.000	98.502	100.000
団体寄付収入	200.000	60.500	100.000
地球市民財団助成金	0	800.000	0
味の素助成金	0	900.000	840.000
受取利子	500	32	500
収入合計	2.821.579	3.602.069	3.591.960

支出の部

事務局運営費(B)	60.000	109.643	72.000
事務局運営費(日)	30.000	19.800	36.000
保育園企画食材費	105.000	57.106	72.000
保育園企画教材費	60.000	21.585	36.000
保育園企画職員費	990.000	936.515	1.292.400
保育園企画諸経費	60.000	0	0
保育園企画学資支援	0	0	216.000
自立支援企画材料費	60.000	0	36.000
音楽企画運営費	250.000	244.523	324.000
サッカー企画運営	30.000	3.190	36.000
その他事業企画費	35.000	77.784	100.000
現地施設修繕費	400.000	312.461	60.000
地球市民財団助成事業費	0	628.364	0
味の素助成事業費	0	509.638	840.000
支出合計	2.080.000	2.920.609	3.480.400
次期繰越金		681.460	

*注

- ・平成21年1月1日より平成21年12月31日までの決算報告となります。
- ・平成21年度予算案はR\$1.00=50円、平成22年度予算案はR\$1.00=60円で計算しています。



助成金事業報告

味の素の支援によるプロジェクト

味の素「食と健康」国際協力支援プログラムより、『園庭菜園及び地域で入手可能な食材を利用した子どものための栄養給食プログラム』として二〇〇九年四月一日より事業を実施しています。二年目となる今年は、調理実習を中心に行っていくこととなります。ブラジル・味の素より地域の食材を使用した、経済的な料理レシピを提供していただき、さらに、味の素商品を寄贈していただきました。これら調味料は、それだけでおいしく感じさせてしまいますが、そこに野菜などの食材がなければ栄養価の高い食事とはいえません。今日、こうした調味料の本来の意味を知らずに、パスタに調味料だけ…という食事をしている家族が多々あります。こういった現状を受け、引き続き本事業を実施していきたいと思っています。さらに、『健康診断』は今後も定期的に行っていく、子どもたちとその家族のみならず、地域住民に広く「予防」の概念を示していけたらと考えています。フォルタレーザ大学（栄養士の所属大学）の全面バックアップを受け、今後交流プログラムや定期的な検査の実施も行われていく予定です。

園庭菜園では今年も雨の雨量不足により、なかなか畑の作物が実らず、昨年のように子どもたちが積極的に関わることが難しくなっています。それでも、毎日の世話を欠かさず、雑草を抜いたり、水あげをしたり…ということが続けることで、野菜をもっと身近に感じてもらえるようにしていきたいと思っています。子どもたちの健康が今以上に安定することを願うばかりです。

かながわ国際交流財団

の支援によるプロジェクト

『ブラジル東北部の貧しい漁村における、地域住民への教育支援プロジェクト』として、二〇一〇年四月一日～二〇一一年三月三十一日まで事業を実施する予定です。事業概要として、「ブラジル国の貧しい漁村地域において、大きな課題を抱えている青少年を中心とした地域住民を対象として、地域住民自らがよい教育の場を提供し、生活の向上を目指すことを目的として、教育支援活動を行う。」とあります。私たちが行っている幼児教育事業を基盤に青少年を巻き込み、彼ら自身が将来村を担っていく存在であるのだと言うことを再認識してもらいたいと考えています。青少年に対して保育園や学童教室の職員との定期的な会議の実施や体験型の教育の場を提供する中で、当団体の活動が課題を抱えている青少年自身の学びの場となり、また、子どもやその家族に対して定期的な取り組みを実施していく予定です。さらに、教職員の研修を充実し、専門性を高めることにより、幼児教育の質をあげ、これらの研修を近隣地域で同様に幼児教育に関わっている教育者、アラカチ市内で活動する市政府機関の幼児教育者等を巻き込んで定期的に実施することにより、ネットワークを形成するとともに、地域全体の教育に対する意識向上を目指していきます。今回もアラカチ市社会福祉局と協力しながら実施していく予定です。以前に当団体が主催する講座に参加した参加者からの希望や意見をもとに、今回の研修の担当である、フラビアーニが中心となって実施していきます。

これらのプロジェクトの報告はブログでも公開していますので、ご興味のある方は是非ご覧になってください。

<http://blog.livedoor.jp/marciano211/>

子育て日記より

我が家の長女（五歳）は、日本とブラジルでは人格が変わります。不思議なのは、雰囲気まで異なることです。

ブラジルに帰ってから数日たったある日、あまりにも彼女が聞きわけがないのでこんなことを言いました。

「なんでブラジルにいと、だって、なんで…と言わずにはいられないの？」

すると、「だって、ブラジルにいと恥ずかしさがどこかに飛んで言っちゃうんだもの…」

どうやら娘は、ブラジルに戻ってくると、はいはい、と聞いているのではなく、自分の意見もきちんと言ってもいいし、どんな場合でも、疑問があればその場で解決したいと思うらしいのです。要するに、感情的にも、言語的にもブラジルにいるほうが開放感があるのでしょう。

確かに。と納得してしまいますが、こういったことを誰に聞かれるのではなく、自分の中で自然に切り替え、振る舞うことができると言うことにある種の驚きを覚えました。子どもというのは五感で、更にはそれ以上の感覚を持って、その環境を理解し、生きていこうとしているのだと言うことを痛感した出来事でした。



ありがとうございます!!!

平成 21 年 6 月 29 日～平成 21 年 10 月 13 日現在までに会費及び寄付を頂きました皆さま及び物資支援を頂きました皆さまのお名前を下記に記載いたしました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

これからも一人でも多くの方に会員になって頂き、カノアの活動を共に支えていただけると嬉しいです。

目標会員 100 名!!!

会費及び寄付を頂きました皆様

(以下順不同)

安孫子 季久代さま / 磯崎 豪司さま / 入間 カイさま / 大田 朋子さま / 大谷 タカコさま / 大塚 崇志・晶さま / 大庭 富美香さま / 岡本 ゆり子さま / 小川 千鶴子さま / 金本 りせ子さま / 神谷 須賀子さま / 川原 翼さま / 桑山 寛子さま / 小山 玲子さま / 汐見 稔幸さま / 諏訪田 あつ子さま / 高橋 美智さま / 谷村 祥子さま / 長谷川 伸さま / 長谷川 宏さま / 東 奈津美さま / 福澤 郁文さま / 藤崎 さよりさま / 堀池 眞輔さま / 堀池 ミツ子さま / 松丸 綾乃さま / 水島 和代さま / 吉田 可南子さま

物資支援を頂きました皆様

(以下順不同)

藤本くみさまとお友達 / 三浦左千夫さま / 横浜市立栗田谷中学校の皆さま / 和井田なみさま / Maresia

カノアでの活動や生活を通して、皆さんと共に学びあうことができるのではないだろうか?そんな思いから、現在下記の雑誌にカノアの活動のこと、日常生活で感じたことなどを連載しています。ご興味のある方はぜひご覧下さい。

■ めたもるふおーぜ

〒 520-2271

滋賀県大津市稲津 2-15-6 (黒川方)

tel / fax : 077-546-4147

e-mail : metamor4se@yahoo.co.jp

<http://www.geocities.jp/metamoru4se/>

「光の子どもたちの会」では、会員、協力会員を募集しています。支える会では「手工芸品の販売」「講演会」などにより多少の収入がありますが、充分な額ではありません。会の運営は全てボランティアにより運営されています。1 人でも多くの方々に会員、協力会員になっていただき、この会を支えていただきたいのです。頂きました会員費、協力会員費及び寄附などは、支える会の活動費、運営費となります。会員の方々には年 2 回の会報、講演会や、イベントなどのお知らせを、ブラジル事務局よりお送りいたします。

一般会員：年会費 5000 円

協力会員：年会費 1 口 36000 円以上任意額

尚、寄附、カンパは随時受け付けています。

■ 郵便振替

口座番号：00280-1-41787

加入者名：光の子どもたちーカノアの活動を支える会

■ ブラジル銀行 (Banco do Brasil) 口座

Agencia 0121-x

Conta Corrente 26357-5

Associacao Crianças de LUZ

ボランティアの皆さん、どうもありがとうございました!!!

(以下 2010 年 1 月より現在まで)

2009/7/30～現在：Mark Arenz

ドイツ人、木工所助手

2009/9/13～現在：Leah Fisches

ドイツ人、保育園助手、音楽プロジェクトサポート

2009/8/16～2010/1/4：信広 翔

木工所助手、コミュニティーセンター管理、日本語教室を開講

2009/9/28～2010/3/8：高橋 沙織

給食室及び用務員サポート、ジャンガーダ伝承事業実施

2009/9/28～2010/3/8：星 久美子

給食室及び用務員サポート、青少年意識向上事業実施

2009/9/28～2010/3/8：義村 翼

給食室及び用務員サポート、植林事業実施

